

災害時に連携 協力態勢を確認

AMDA国際会議

アジア各国の医療団
体が、災害時に連携す
る態勢づくりを目指す
「アジア相互扶助災害
ネットワーク会議」
写真Ⅱが12日、北区の
岡山国際交流センター
で始まった。18日まで。
紛争地や災害被災地で



医療面での支援を行う
国際医療救援団体「A

MDA」が主催し、韓
国やインドネシア、ア
フガニスタンなどアジ
ア13カ国の医師会や非
営利組織が参加。互い
の国で災害が起きた時
に連携し、支援を充実
させる方法を探る。

会議で、AMDAの
菅波茂代表が「相互に
学び合い、世界平和の
ためにネットワークを
大きく広げたい」とあ

いさつ。その後、参加
者が、自国の災害医療
や公衆衛生の状況につ
いて発表した。

AMDAによると、
13カ国が一堂に会して
協力態勢を確認し合う
のは初めて。13日には
参加団体が「アジア相
互扶助災害医療ネット
ワーク設立宣言」に調
印する予定。